

KiKiの広場

2020年 7月 1日
cafe NO.117
KiKi



宇部市の「新型コロナウイルス感染症対策に係る宇部市公共施設利用・イベント等開催に関する基本方針」が、6月19日から「ステージ3」になり、利用者等の制限はなくなりましたが、施設の利用に関しては、人数制限や利用不可の部屋があり、皆様方にはまだまだご不便をおかけしています。マスクの着用が当たり前の今、お客様と顔を合わせる度に、「苦しいね。」「暑いね。」が合言葉のようになってしまいました。施設利用時には定期的な換気を行わなければなりません。違う意味でもっともっと風通しのいい日常が、早く戻ってくることを切に願っています。ご利用の皆様には、今しばらくご迷惑をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。

7月の予定

休館日	14日(火)
定休日	毎土・日・月曜日
臨時営業日	20日(月)



「今月のケーキ」・・・「真っ赤なりんごのケーキ」350円

まるで本物のりんごのような、まあいいケーキ。りんご風味のカスタードクリームの中に、リンゴダイスとりんごジャムが包み込まれています。濃厚でしっかりとした食感のアイスクリームケーキです。

今月のお気に入り・・・「夏と言えばこんな絵本！！」

～「はじめてのなつやすみ」「おひさまみたいに」「おーなみこなみざぶん!」「あついあつい」「れいぞうこのなつやすみ」など～



「はじめてのなつやすみ」は、5つのお話が収められた短編絵本集です。絵がいわさきちひろさんで、文は立原えりかさん。ちひろさんの絵に合わせて書き下ろされたお話もあるそうです。水彩画の色彩の美しさと、幻想的で優しい文章にうっとりします。「おひさまみたいに」は、ひまわりの1年が丁寧に描かれています。種からひまわりを育てる女の子が、どれほどひまわりを愛おしく思っているか、いじらしいくらい伝わってきます。真夏のお日さまのようなひまわりの絵も素敵です。



今月の本棚・・・「松岡達英の世界」



～「よるになると」「ちきゅうがウンチだらけにならないわけ」「いけのおと」「もいのくうちゅうさんぽ」「まだかな」などなど～



自然観察描写の第一人者として、数多くの自然科学絵本を生み出してきた松岡達英さんの特集です。

「よるになると」は、同じ景色が昼と夜で対比されています。同じアンゲルでも昼と夜で全く違った世界になります。緻密で美しい絵を隅々まで楽しめます。「ちきゅうがウンチだらけにならないわけ」

は、様々な生き物のウンチが、次から次にそれぞれのウンチのやり方と共に出てきます。

イヌとしてこれだけはしておきたい「せかいのいきもののウンチ」というイヌ図書館にある本が出てきて、イヌ目線で話が進んでいくのがとても面白くて楽しい絵本です。「いけのおと」



は、松岡さんの中でも、特に好きな絵本です。繊細な絵も素敵ですが、音で表される生命力に惹き込まれます。今の時期にぴったりの清々しい絵本です。



ほっとフレイク



新しく設置したパラソル、お天気の良い日に広がっていると、わざわざ受付まで来られて、「オープンテラスを利用してもいいですか？」と声をかけてくださる方が多い季節ではありますが、い時には、ご遠慮なく「カフェ KiKi」の



も増えてきました。暑風があつて木陰が涼しどうぞ。



「テイクアウト」もご利用ください。